

巡礼六地藏

六地藏御詠歌に歌われているお地藏さまが、能登川町内に5カ所あります。

六地藏信仰になぞらえて、6カ所を指定して巡礼するのにちょうどよいコースとなっています。

吉

今村興福寺地藏堂

苦しみに変わる仏の誓いとて
楽しみ安き法の庭かな

じごくのうけ
地獄能化

昔、金九郎じいさんが、眼の病気にかかり長い間、八方手をつくして治療をしましたが、ぜんぜんよくなりず途方にくれていました。ところが、ある夜、一人の老人が夢枕にたたれお告げがありました。おじいさんは、このお地藏さまをていねいにおまつりしました。不思議なことにおじいさんの頑固な眼の病気は、たちまちに治りました。その後、この話は村中に伝わりみんなでお堂を建てて、お守りすることになりました。

式

長勝寺村長勝寺

長き夜の闇なき照らせこの寺の
光すぐるる秋の夜の月

がきのうけ
餓鬼能化

閻魔大王は、赤い服をまとい王冠をかぶり、大法杖をにぎって怖い形相をし、冥界の王として死後の審判を司り、また人間が悪事をするときなどに厳しく見張って怖がらせる、お目付け役です。

昔から長勝寺のお地藏さまは、閻魔天としてまつられ、お詣りすると、長寿・安楽往生がかなえられ、厄除けができるという信仰があります。

参

下日吉村正瑞寺

六つの輪の杖をたよりに詣で来て
道も日吉のみ寺すずしき

ちくしょうのうけ
畜生能化

この寺は臨済宗妙心寺派に属し、五個荘町下日吉にあります。この寺の後には後藤但馬守の居城である佐生城があり、観音寺城に通じる間道が通っています。また、この山中には金の鶏が埋まっているという伝説があり、以前はこの伝説を信じて穴を掘った人がありましたが、鶏は出てこないで、石仏が1個出たということです。

またこの寺には、修業の場であった「養命の瀧」があり、現在は墓参の水汲み場として使われています。



今村興福寺金九郎地藏堂



長勝寺長勝禅寺の閻魔堂



下日吉村正瑞寺



佐野地福寺

四 佐野村地福寺

貧しきもたのみつくせぬ地福寺の
仏の恵み隔てなき世に しゅらのうけ 修羅能化

地福寺の本尊は木造のお地藏さまで、鎌倉時代末期に京都の白川より当寺にお移りになりました。織田信長の兵火で寺が焼失しましたが、本尊は無事に残り現在まで伝えられています。

また、昔地獄に落ちた女の人を、僧の姿に身を変えて救ってくださった言い伝えのあるお地藏さまです。



能登川大徳寺地藏堂

五 能登川村大徳寺

能登川に入りかう船は後の世の
室津へ渡るこの寺の庭 にんげんのうけ 人間能化

このお地藏さまの台座には、「宝永二年五月良辰」の銘があり、建立記録として残っています。昔、この寺の目の前に港があった頃、港に出たり入ったりする人々の姿があつた世と似ていることから、橋渡しをしてくれるお地藏さまとしてまつられました。

また現在では、自由にお参りできることから、地域の人たちからは、親しみのある信仰の場となっています。



躰光寺国領地藏堂

六 躰光寺村地藏堂

法の輪の光をうけて瓔珞の
かかる身を得ん末ぞたのもし てんじょうのうけ 天上能化

このお地藏さまは、大木を3つに切り、三体のお地藏さまが刻まれたときの真ん中の部分で、先端と根本の部分はよそに持っていかれ、ここには真ん中のお地藏さまがまつられているということです。

このお地藏さまは彩色が施されてあります。

また、安産や母乳を授けたり、預かたりするお地藏さまとして、靈驗あらたかと言われています。